

●あなたと市民センターをつなぐ情報紙

そげっぱ通信

3月

曾慶市民センター
 曾慶字神蔭32-1
 ☎ 0191-75-2244
 FAX 0191-34-6630
 Email: info@yuinet-sogei.com

第12回そげいのひなまつり
 精緻な技が光るひな飾りが会場いっぱい



2月28日から3月3日までの4日間、手まりの会主催、曾慶市民センター共催による「第12回そげいのひなまつり」が開催され、多くの来場者がひなまつりを楽しみました。
 地区センター館内に入ると、赤い絨毯と廊下の上から吊された藤

の花が来場者の目を奪います。メイン会場となつている和室に入ると、先に目に入るのが、部屋の大半を占める吊しひな。そして床の間には着物の帯に「そげいのひなまつり」の文字の豪華な看板とひな壇。タペストリーや干支の置物などが和室いっぱい飾られ来場者を楽しませました。今回は12回目ということで、十二支の干支の置物が全て揃い、来場者はじっくり見入っていました。そげいのひなまつりは一つひとつ



廊下に飾られた見事な藤棚が目を奪います。ライトアップも行われました。



干支にちなんだ馬の置物も個性豊かです



表情豊かな個性あふれる手づくりの置物は見る人を飽きさせません



和室いっぱい吊された圧巻の吊し雛



十二支が全て揃ったコーナー

手づくり小物の展示販売も行われ、大人気でした。



「ハートフル・コンサート」が開催され賑わいました。(コンサートの記事は4ページをご覧ください)

の作品の技術の細やかさが評判で毎年来てくれる人も多いようです。期間中、地区内外から400人以上が訪れ、曾慶の女性たちの技が光るひな飾りを楽しみました。また、2日目の3月1日には協賛事業として



曾慶保育園卒園式

卒園児の成長した姿に涙も

曾慶保育園の卒園式が3月7日に同園を会場に行われ、ご両親や来賓、保育園職員らが見守る中、卒園する2人をお祝いしました。

卒園式では2人の園児の入場後、出席者全員で「保育園の歌」を元気に合唱。その後2人にそれぞれ保育証書が手渡され、園長先生、来賓を代表して真鍋大東小学校長、保護者会の小山会長がそれぞれあいさつを述べました。記念品授与のあと行われた「お別れのコール」では、大きく成長した姿にお母さんが涙し、それを見ていた卒園児も目を真っ赤にし言葉に詰まる場面もあり、心温まる卒園式となりました。



大きく成長した姿を見せた2人

結いネットそげい「地域づくり講演会」

行動することの大切さを語る



3月17日、結いネットそげいの地域づくり講演会が曾慶地区センターを会場に開催されました。「宝の山、宝の川～視点を変えれば、地域も人生も明るく拓く」と題した講演会の講師は摺沢在住で「河童の里プロジェクト(仮称)」を立ち上げ有志数人で公園づくりを手がけている小野寺敬一さん。ジャーナリスト、写真記者として世界50カ国以上を巡ってきた小野寺さんは、「この地域にはこれまで知らなかった宝物がいっぱいある。いまある物はただの石ころかもしれないけれど、磨けば宝物になる」と自ら行動することの大切さを、約40人の来場者の前で熱く語りました。

大東高校だより

《11》

～大きな地域行事支えた1, 2年生
3年生の門出を彩る伝統行事～

一方、2月27日には応援団の引継式が行われ、新旧団長が思いをつないだ和やかな式となりました。同日実施の同窓会入会式では、同窓会長から卒業に向けて「時間を守る」「あいさつをする」「友人を大切にする」との励ましが送られ、代表生徒が記念品を受け取りました。

伝統行事で3年生の門出を祝う

焼鳥や飲み物の提供、カレー調理、観光案内所の受付など、各部署で生徒たちは協力しながら主体的に活動しました。また、鹿踊部は多くの観客に囲まれる中、堂々とした演舞を披露し、温かい拍手に包まれました。

2月11日、1・2年生は大東大原水かけ祭りに参加し、山車押しや駐車場係、販売・食堂補助など、多様な役割で大きな地域行事を支えました。

駐車場係、販売、食堂補助
鹿踊り部も大活躍



同窓会入会式 (同窓会長から卒業生代表に記念品贈られる)



応援団引継式 (団長の腕章の引継ぎ)



水かけ祭りボランティア (販売のお手伝い)

火の取り扱いには十分注意!

◎山火事の防止

春は空気が乾燥し火災が起こりやすい季節です。特に最近では山火事や建物火災などが頻発しています。火災のほとんどは、人間の不注意によって起きています。屋外で火気を扱う場合は特に十分注意をしましょう。



◎「野焼き」は禁止されています

家庭ごみ等の野外焼却(野焼き)は、一部の例外を除き、平成13年度の法律改正で禁止されています。農業を営むためにやむを得ないものとして行われる「野焼き」は例外とされていますが、農地で野焼きをする際は、近所迷惑や延焼にならないように十分気をつけましょう。

春の全国交通安全運動

◎運動期間：4月6日(月)～15日(水)まで

◎交通事故死ゼロを目指す日：4月10日(金)

【交通安全運動の重点】

- (1) 通学路・生活道路におけるこどもを始めとする歩行者の安全確保
- (2) 「ながらスマホ」の根絶や歩行者優先等の安全運転意識の向上
- (3) 自転車・特定小型原動機付自転車の交通ルールの理解・遵守の徹底



《4月の行事予定》

- 4月4日(土) 大東中学校入学式
- 4月8日(水) 大東小学校入学式
- 4月18日(土) 音楽喫茶・結
- 4月23日(木) 合同行政区長会議



おたのせ

第9回そげい夏まつり

8月8日(土)に開催決定!

3月13日に開催された夏まつりチーム会議において、8年度のそげい夏まつりの開催日程等が決定しました。日程は昨年と同様、お盆前最後の土曜日、8月8日(土)の午後5時スタート。会場は昨年に引き続き曾慶地区センターの東側駐車場となりました。

まつりでは各自治会等からのグルメ屋台の他、ステージイベントやお楽しみ抽選会、花火大会など、楽しい交流の場となるよう、準備を進めていきます。ステージイベントの出演団体はまだ決定していませんが、世代を超えて楽しんでいただけるような企画としたいと思っておりますので、地域の方のご参加をお待ちしています。



※写真は昨年の夏まつり

音楽喫茶「結」 MusicCafe Yui

次の開店は4月18日(土)14:00～16:00です
◎時折レコードを頂戴し、コレクションが増えてきました。お客様のリクエストを聞きながらかけていきたいと思っております。また、ご自分のレコードを持ち込み、みんなで聴くことも可能です。
※ ホール側の玄関からお入りください。

農機バンク

* 農業機械 “など”
ほしい人といらぬ人の情報交換コーナー*



《売りたい》

◎溶接機(マイト工業) ◎金網製トレー(120×60×3cm) ◎ハロー(クボタ/HMT2010BKA/2M/24馬力に使用) ◎ハーベスター(クボタ) ◎エンジンポンプ(カトウポンプ) ◎種蒔き機(大豆・とうもろこし用) ◎井戸ポンプ(テラダポンプ) ◎管理機 ◎アルミレーキ(巾97cm/柄179cm) ◎芝刈り機(ナショナル) チェンソー(ヤンマー) ◎溝切機 ◎発電機(エアーマン) ◎エンジン除草機 ◎バインダー(ヤンマー) ◎ディーゼルエンジン(ヤンマー) ◎ハーベスター ◎スプレー・はさみ・熊手セット ◎丸ヤスリセット ◎ビニールパッカー ◎草刈機工具 ◎ツールボックス ◎ウイングモア(クボタ)

《買いたい》

①小型トラクター ※写真入りの最新情報は市民センターで閲覧できます。

※ 金額は当事者同士で決めていただきますが、別途点検・整備代等がかかります(実費相当)

そげい歳時記

そげいのひなまつり協賛「ハートフル・コンサート」 ～ビッグ・バンドの演奏に会場湧く

第12回目となる「そげいのひなまつり」の協賛事業として、手まりの会が主催する「ハートフル・コンサート」がひなまつりの2日目に当たる3月1日に開催されました。

演奏したのは市内外で演奏活動をしているG・B・P・P・J・a・z・z・オ・ー・ケ・ス・ト・ラ。総勢18名によるビッグバンドで、曾慶で演奏するのは初めてでした。会場にはひなまつりを観に来た来場者も次々と訪れ、超満席の約150名がジャズの名曲から懐かしい歌謡曲、映画音楽など多彩で迫力ある演奏を楽しみました。サクソフ演奏とMCを努めたいちのせき市民活動センターの千葉歩さんがテンポ良く曲紹介などをしながら、アンコールを含めて13曲を演奏していただきました。会場は感動の嵐、歓声と笑顔いっぱい。のコンサートになりました。



会場を埋めた約150人の来場者からは惜しめない拍手が贈られました

MCを努めた千葉歩さん

曾慶の人口と世帯数

令和8年3月1日現在

行政区	世帯数	男	女	合計
1区	28	36	26	62
2区	68	86	85	171
3区	49	59	70	129
4区	48	65	71	136
5区	64	77	73	150
6区	41	57	57	114
7区	33	41	41	82
13区	32	42	36	78
こはぎ荘	49	21	28	49
合計	412	484	487	971
前月比	1	1	△1	0



佐藤公一・耕平氏生家
曾慶百景

戦前、貧しくて医療を受けることができない農民の福利厚生を改善するべく岩手県内の病院設立に身を尽くしたのが佐藤公一氏(1889年-1961年)です。晩年は岩手県の農業協同組合中央会を発足、初代会長などの要職を歴任し「岩手農民の父」とも呼ばれています。

弟の佐藤耕平氏は両磐地域の各尋常高等小学校等で教師を歴任し、小・中学校の校長も務められました。音楽に優れ、曾慶小学校を始め多くの小中学校の校歌の作曲も手がけています。この佐藤公一氏や耕平氏の生家は、市道白山線から南に数百メートルほど入った曾慶字清水地内にひっそりと佇んでいます。